

# 家庭学習の手引き

小学校の学習は、将来児童が社会人として自立するための基礎となる大切なものです。特に「聞くこと」「話すこと」「書くこと」「計算すること」は欠かすことのできない大切な学習です。学校では学習内容が定着するように日々努力をしていますが、家庭と連携をとることで、より確かに定着するのではないかと考えます。

家庭学習は、学校で学習したことをしっかり身に付けるために、また、自ら学ぶ習慣や方法を身に付けるためにとても大切なものです。そこで、家庭学習の手引きを作成することとしました。保護者の皆様には、児童と一緒にご覧いただき、ご理解とご協力をお願いいたします。

## 家庭学習の3つの約束

- ① 始める時刻を決めましょう。
- ② 学習する場所を決めましょう。
- ③ 学習の時間と内容を決めましょう。

家庭学習に、計画的に取り組みましょう。  
宿題と授業の復習、予習をセットにして取り組むことで、毎日の授業がより楽しく分かりやすくなります。

## 家庭学習を始める前に

- ① テレビやゲームのスイッチを切りましょう。（「ながら勉強」は身に付きません。）
- ② 学習する場所の整理をしましょう。
- ③ 必要なもの（筆記用具、辞書等）を用意しましょう。

## 家庭学習の時間の目安

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
20分以上	30分以上	40分以上	50分以上	60分以上	70分以上

## 子どものがんばりを認め、ほめて励ます。

子どもが学習したことにできるだけ目を通し、励ましてください。頑張った成果を認めてあげてください。親や教師が子どものがんばりを認め、ほめたり励ましたりすることで自信が付き、進んで学習しようとする意欲が高まります。

## 学力アップは規則正しい生活から

- ① 早寝・早起き・朝ごはん(9時間睡眠)
- ② テレビやゲームをする時間を家族と話し合いで決める。
- ③ 自分で学習の準備をする。

## 学習の仕方

学習内容	やり方
① 文字・漢字の練習	<ul style="list-style-type: none"> <li>習った文字や漢字をノートに繰り返しれんしゅうする。</li> <li>お手本を見て、正しく、ていねいに書く。(とめ、はね、はらい)</li> <li>読み方や送り仮名も確かめる。</li> </ul>
② 音読の練習	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の今勉強しているところを人に聞いてもらって、大きな声ですらすら読めるように練習しましょう。</li> <li>暗証に挑戦しましょう。</li> </ul>
③ 算数の問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>計算ドリルやプリントをしましょう。</li> <li>やりおわったら、間違えていないか見直しをしましょう。できる時は、丸つけもしましょう。</li> <li>教科書の問題をノートに書いてやってみましょう。</li> <li>自分で問題を作ってみましょう。式と答えも書きましょう。</li> </ul>
④ そのほか	<ul style="list-style-type: none"> <li>日記を書いたり、文作りに挑戦したりしましょう。</li> <li>教科書を書き写しましょう。</li> <li>時計を見て時間を言ってみましょう。 など</li> </ul>

## 自主学习メニュー

○子どもたちの自主学习ノートにはってある自主学习の例です。

<p><b>ことばあつめ</b></p> <p>どうぶつ・しょくぶつ・たべもの・きせつ・かたかな・「あ」からはじまることば・しりとりなど</p>	<p><b>かん字のれんしゅう</b></p> <p>あたらしくならったかん字</p> <p>かん字をつかったぶんづくり</p>	<p><b>けいさんれんしゅう</b></p> <p>ドリルやきょうかしよのものだい</p> <p>できるときは、まるつけもする。</p>
<p><b>うつしがき</b></p> <p>きょうかしよや本を見てていねいにかきうつす。</p>	<p><b>ぶんづくり</b></p> <p>「いつ・どこで・だれと・なにをした・どうだった」をかんがえながら、ぶんをつくろう。</p> <p>につきをかく。かんじたこやおもったこともかこう。</p>	<p><b>もんだいづくり</b></p> <p>たしざんやひきざんのものだいをじぶんでつくってみよう。</p> <p>しきとこたえもかこう。</p>
<p><b>いきものやしょくぶつのかんさつ</b></p> <p>きになるいきものやしょくぶつをていねいにかんさつしてみよう。きづきやおもったこともかいてみよう。</p>	<p><b>テストやプリントのまちがいなおし</b></p> <p>まちがえたかん字やことばをもういちどノートに正しくかく。まちがえたもんだいをもういちどといてみる。</p>	<p><b>どくしよ</b></p> <p>じかんがあるときは、本をよみましょう。</p> <p>よみおわったら、本のだいいい・かいた人・おもったことをノートにかく。</p>